

PCSA アクションレポート(依存問題対策プロジェクトチーム)

平成 30 年 5 月版

第 15 回依存問題対策プロジェクトチーム

開催日時 平成 30 年 5 月 26 日（土） 午前 9 時 30～正午 12 時

開催場所 PCSA 会議室

出席人数 メンバー6名、合計6名

出席者 <リーダー>

辻 良樹 株式会社ダイナムジャパンホールディングス 法務グループ グループ長

<サブリーダー>

荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社 監査役

<メンバー>

玄 昌起 株式会社ダイナム 営業推進部 業務担当

佐久間 仁 株式会社ニラク 法務部 法務長代理

武田 裕明 株式会社ニラク 法務部

武内 好努 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 組織戦略部 課長

1) 「ギャンブル等依存症対策基本法案」衆議院 内閣委員会 過去中継 視聴

平成 30 年 5 月 25 日開催の「ギャンブル等依存症対策基本法案」の衆議院内閣委員会の中継をインターネットより視聴した。パチンコ業界の依存問題対策を担っているリカバリーサポート・ネットワーク 西村直之代表、ギャンブル依存症問題を考える会 田中 紀子 代表理事などが参考人として招致されており、それぞれ意見を述べた。西村氏は、依存症という医学用語はなく、また諸外国はギャンブル依存対策の黎明期にアルコール依存や薬物依存と酷似した対策を取ってきたが、現在は予防と安全な遊び方を教えることに注力していること、ギャンブル依存の対象者は高確率で他に依存する原因がありギャンブルから引きはがしたとしても根本的な問題の解決にならないこと等を述べた。一方、田中氏は、ギャンブルに依存し借金や暴力、失踪、自殺などの問題を起こしている本人、家族を支援する仕組みや資金が足りていないことを切々と訴えた。参加メンバーからは、事前の予防と事後の治療、どちらも重要なので両方が組み合わされば良いという意見が述べられた。

2) 「娯楽産業の未来のためのギャンブリング問題対策」DVD 視聴

講師：リカバリーサポート・ネットワーク 代表 西村 直之 先生

過日、某企業にて開催された講演「娯楽産業の未来のためのギャンブリング問題対策」の DVD を視聴した。「ギャンブル依存症」という用語は世界の医療業界に存在せず、現在は「プロBLEM ギャンブリング（問題あるギャンブリング）」と呼ばれており、本人、家族、周囲の人、社会に対して「悪影響」を与えるギャンブリング行動や習慣と定義されていると述べた。さらに、世界の研究者の考え方として、

・上記の「悪影響」を与えるかどうかは依存の度合いによってはかれるものではない為、依存して「いる」か「いない」かは現実的に意味がない。これは、ギャンブルに依存しているとしても経済的な余裕があり、独身であれば悪影響自体が生じない事から依存の「ある」「なし」で「問題となる」「問題とならない」を判断できない為。

・問題や悪影響を引き起こしている人々には、そこに陥るだけの背景や原因があり、ただギャンブルから遠ざけて

も問題は解決しない。

・他人からの強制ではなく本人からの自発的な自己修正が非常に重要でそこに対する支援方法がポイントになる。

と述べた。

これらを鑑み、現在、世界のギャンブル業界では、事後の治療より事前の予防、適切な学習の方が効率的で有効だと認識しており、「レスポンシブルゲーミング（責任あるゲーミング）（RG）」として考え方を定めている。これは、個人、ギャンブル事業者、ギャンブル事業を認可した行政（国、地域）などがそれぞれ「安全に遊んでもらう働きかけ」の実施に責任を持ち、ギャンブル事業の健全な継続、すなわち安全に遊ぶ事のできるユーザーを育成する事を目的としている、と説明した。

また、「レスポンシブルゲーミング」では、同時にそれでも問題が発生した人たちに対しては、まず問題の発見、多様な対応プログラム提供、自発的な取組の促進などで軽微な影響の内に早急な治療や健全化への復帰を取組んでいる、と述べた。

最後に、実はこの「レスポンシブルゲーミング」という考え方のフレームワーク（基本的な骨子）は、「世界宝くじ協会（WLA）」が作成、公開しており世界各地でそのまま、又はローカライズされて活用されている事を説明して締め括っていた。

メンバーからは、「レスポンシブルゲーミング」の考え方や有効性が良くわかったが、今後はこれをどう活用していくか、現時点での従業員への具体的な教育手法の検討が必要などと述べた。更に、依存も含め業界のイメージアップの為に良い広報手段についても議論がなされた。

3) 依存問題対策プロジェクトチーム・法律問題研究部会 in 沖縄について

スケジュールとそれぞれの内容の確認をした。

<スケジュール>

6月29日（金） 1日目

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 13:30 | 集合 那覇空港 中央カウンター前 |
| 14:15~16:00 | RSN 訪問 会場：RSN 事務所 |
| 16:40~16:55 | ①ストアコンパリゾン 1 店目（見学 15 分） |
| 17:25~17:45 | ②③ストアコンパリゾン 2,3 店目（見学 20 分） |
| 18:20 | 旭橋駅周辺 解散 |
| 19:30~21:30 | 情報交換交流会 |

6月30日（土） 2日目

- | | |
|-------------|--|
| 9:00~11:00 | 依存問題対策プロジェクトチーム in 沖縄 会場：沖縄県市町村自治会館
「RSN 代表 西村 直之 先生 勉強会」 |
| 11:15~13:00 | 法律問題研究部会 in 沖縄 会場：同上 |
| 13:00 | 解散 沖縄県市町村自治会館 |

4) 次回開催

PCSA 拡大法律問題研究部会 依存問題対策プロジェクトチーム in 沖縄 リハビリサポート・ネットワーク勉強会
平成 30 年 6 月 29 日（金）～30 日（土）

沖縄 那覇にて

※詳細スケジュールは 3) を参照。

以上